

別紙様式1

県立広島大学収受	
第	号
20.12.02	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

推 薦 書

令和2年12月1日

公立大学法人県立広島大学  
理事長選考会議議長様

推薦者 経営審議会委員

氏名 大竹 美喜



私は、本人の同意を得て、次の者を、県立広島大学学長候補者の選考対象者として推薦します。

(ふりがな) 氏名	はらだ としひで 原田 俊英
現職名又は最終職名	県立広島大学理事・副学長
推薦理由 原田俊英氏は、1982年広島大学医学部卒業後、医学博士を取得し、県立広島病院、広島大学病院で研鑽した。広島大学医学部講師、広島国際大学医療経営学科教授、同大学院医療経営学専攻長を経て、2011年に本学保健福祉学部教授、2015年より理事・副学長を務めている。各種医学会の専門医・代議員・理事として教育、研究に加え、附属診療所で地域医療に貢献している。 しょうばら産学官連携推進機構、三次イノベーション会議、三原地域連携推進協議会、ひろしまヘルスケアネットワーク推進協議会等の理事や委員としても3キャンパスの教職員と協働し、地域貢献・研究・教育を率先推進している。 2019年新設の地域基盤研究機構を統括し、独創的な発想で大学資源を生かした戦略的マネジメントを実現した。その結果、低迷傾向の科研費採択数・外部資金獲得をV字回復させた。 同氏は長年医師として培われた傾聴力・洞察力・決断力を持ち、医学・経営の豊富な実績と先見性を備えており、人格、学識、指導力のすべてにおいて、県立広島大学のリーダーに相応しい人物と判断でき、叡啓大学との連携体制の構築を考え、次期学長候補の適任対象者として強く推薦する。	

※推薦理由には、人格、学識、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営できる能力、法人の経営管理能力について400字程度で記載してください。

※学長候補者選考の過程で、この推薦書は公表されます。